

阿波女あきんど塾  
これまでの歩み

市長挨拶

令和二年度リーダー挨拶

内藤市長との協議

『With コロナへのチャレンジ』  
県内で活躍する女性  
お二人を迎えての協議



# 阿波女

a w a o n n a

# あきんど塾

2021  
Vol.28

1995

## AWAおんなあきんど塾を発足

平成7年8月、女性の社会進出を促進する環境づくりの一環として、女性の経営者としての知恵とアイデアを活用するため、徳島市内の各業界の女性経営者10人に徳島市が参加を呼びかけ、「AWAおんなあきんど塾」が誕生

1996

- シンポジウム開催
- 女性起業家育成セミナー 開催
- ステップアップセミナー 開催
- ビジネスメッセ出展

女性が起業する際の金融支援を市へ提言し、全国初となる女性起業家育成資金制度を制定

1997

- シンポジウム開催
- 女性起業家育成「たまごセミナー」開催
- 徳島ニュービジネスメッセ出展
- 起業家を育てる「メンター講座」開催

1998

- 女性起業家育成「フォローアップたまごセミナー」開催
- メンター活動推進研究会議 5回開催

1999

- 女性起業家育成「たまご」セミナー&メンター講座 開催
- 女性起・企業家四国大会参加

2000

- 「オープンあきんど塾」5回開催

2001

- 「AWAおんなあきんど塾成功塾」5回開催

2002

- 「誌上くるま座サロン」実施

2003

- 「くるま座サロン」2回開催

2004

- 「メンターになろうよ!」講演会 開催
- 「スポーツビジネスに関する講演会」開催

2005

- 出張講座「Work for joy 仕事っておもしろい」開催

2006

- 出張講座「AWAおんなあきんど塾キャストと語ろう! 起業とこれからの地域経済活性化」開催

2007

- 第22回国民文化祭協賛事業「阿波おんな元気サミット」開催

2008

- 女性経営者のネットワーク「女あきんどネット」「べちゃくちゃ問答塾」3回開催

2009

- 女性経営者のネットワーク「女あきんどネット」「べちゃくちゃ問答塾」2回開催
- 女あきんどネット発足

2010

- 「女あきんどネット勉強会」開催
- 「きらめく女性大賞」創設

2011

- 東日本大震災復興支援プロジェクト 始動
- 「きらめく女性大賞」開催

2012

- 東日本大震災復興支援プロジェクト
- 「第3回 きらめく女性大賞」開催

2013

- 「第4回 AWAおんなあきんど大賞」開催

2014

- 「パワーアップ勉強会」3回開催

2015

- 20周年記念シンポジウム開催
- 「徳島の女性経営者100人に聞く」出版

2016

- 文部科学省COC+事業 「とくしまサイコー塾」第2回定例会講師
- 徳島市人事課研修講師
- 金融庁監察局との意見交換
- 「社会人3年目の働く女子会」開催
- 「徳島市創業支援事業計画」出張講座講師

2017

- 「徳島市応援キャラバン隊」アンケート調査実施
- 「男女共同参画立県とくしまづくり賞」受賞
- 徳島県信用保証協会との共催「女性社長のかばん持ち」事業
- 徳島市農漁村女性組織連絡協議会研修会講師
- 四国大学出張講座講師

2018

- 徳島県信用保証協会との共催「女性社長のかばん持ち」事業
- 「あきんど塾と言いたい放題」開催
- 四国大学出張講座講師

2019

- 「自主研究グループ」との新しい取組についての提案
- 市長発表の実施
- あきんど塾キャストおすすめのスポット及び飲食店の提案
- 徳島県信用保証協会との共催「女性社長のかばん持ち」事業
- 徳島市立高等学校出張講座講師
- 四国大学出張講座講師

## 令和2年度の活動内容 運営会議10回

2020

- 内藤市長との協議 (令和2年7月13日)
- 県内で活躍する女性お2人を迎えての協議@徳島市産業支援交流センター (令和2年10月19日)
- 徳島城博物館の訪問 (令和3年1月20日)

阿波女あきんど塾  
キャスト

有限会社 アン・モデルエージェント 代表取締役  
株式会社 ラバンセジャパン 代表取締役社長  
株式会社 クラッシー 代表取締役  
株式会社 ひまわり 常務取締役  
株式会社 北野商事 代表取締役会長  
株式会社 あわわ 会長  
有限会社 ケイトップス 代表取締役  
モンドジャコモ 有限会社 代表取締役  
株式会社 とさわ 代表取締役社長  
株式会社 ココア堂 代表取締役  
立木写真館1883 代表  
オートクチュール板東 代表

青江 文  
今城 美紀  
植田 貴世子  
大岩 明代  
北野 多津子  
坂田 千代子  
高岡 慶子  
高木 博代  
高畑 富士子  
立川 真季  
立木 さとみ  
板東 美千代

# ごあいさつ



ごあいさつ

徳島市長 内藤 佐和子

元気で明るく働き者と評される「阿波おんな」の感性を活かし、女性の社会進出と地域経済の活性化を促進するため、各業界の女性経営者が中心となり、平成7年に阿波女あきんど塾が結成されました。キャストの皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本市を取り巻く経済情勢は、これまでに経験したことのない厳しい状況に直面しておりますが、阿波女あきんど塾キャストの皆様におかれましては、リモートワークの導入など、新しい生活様式に対応した事業展開とともに、積極的に活動の幅を広げられていると伺っております。

オンラインによる消費や仕事の増加に伴い、社会経済活動や人々の意識・行動も大きく変化しており、地方移住やワークライフバランスなど、都会から地方への新たな人の流れの機運の醸成が生まれつつあります。

本市といたしましても、こうした機会を逃すことなく、皆様これまで培われた、女性ならではの視点や発想力など、様々なご提言をいただきながら、徳島の魅力を高めるための取組を進めてまいりたいと考えております。

今後も皆様と連携を図りながら、女性があらゆる分野で活躍することができる地域社会づくりに向けて様々な施策を推進してまいりますので、引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和2年度リーダー挨拶

株式会社 クラッシー  
代表取締役 植田 貴世子

New Normalな日常が定まらないままWithコロナ社会が時を刻んで行きます。

経済社会は、ブレーキをかけられたり、進め!と励まされたり、何が良くて、何がいけないのか戸惑いの多いこと!

今日までの慣習が日に日に新しい常識に塗りかえられて行くのを目の当たりにしながらも、微笑むことを忘れないようにと心に言い聞かせ、果敢に“忍び寄る不安”と闘った2020年度だったように思います。

あきんど塾は、一年を通して足元にあるふるさとの資産を見直しながらその不安を払いのけ、これからも徳島が元気に息づいて行くための方策を考え議論してきました。

情報化社会の進化・深化とともに国際化・業際化さらには職際化までが歩幅を広げ、突き進んで行く感があります。すべてのヒト・モノ・コト同士の距離は縮まり、互いの“<sup>きわ</sup>際”が、つまり境界線が入り混じって掛け算をすることで、きっと新たな価値=Innovationが起こる!そんな予感すらします。

コロナという外圧により失ったものもありますが、その多数は新たな時代に向かうため失うべきものであって、むしろ生まれ来る新たな価値に目を向け、さらなる可能性を拓けて行きたい!

あきんど塾メンバー全員の何と明るく前向きで元気なことか!!  
大丈夫!あきんど塾は、2021年度徳島の新たな価値をまた生み出します!



## 内藤市長との協議

令和2年7月13日(月)、徳島市長就任から約3カ月の内藤市長を運営会議に招き、女性活躍の展望などについて協議を行いました。

### 協議内容

- ◆ 県内では女性経営者の割合が多く、主要経済3団体のトップも全て女性である
- ◆ 女性の発言力を生かせば、徳島の強みになっていく
- ◆ 徳島市役所では5月1日付の人事異動で初めて女性部長が誕生
- ◆ 女性の校長会が徳島で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となってしまった
- ◆ 様々な分野で活躍している女性の会ができれば、面白い
- ◆ 市長があきんど塾に期待する活動があれば、その活動を推進していきたい



# 県内で活躍する女性 お二人を迎えて

体験型ゲストハウス Earthship MIMA 倉科智子さん、  
一般社団法人 旅の葉 榎本峰子さんのお二人をお招きし、  
徳島市産業支援交流センターにて運営会議を行いました。

「With コロナへのチャレンジ」と題し、創業開始の経緯、  
コロナ禍における現状、今後の展望などについて協議を行いました。



## 体験型ゲストハウス Earthship MIMA 倉科 智子さん

- 2015年地域おこし協力隊として美馬市に移住
- 2020年7月、日本初のアースシップである、体験型ゲストハウス Earthship MIMA を建設
- 自然エネルギー、DIYについては幅広い方が興味を持っており、思いのほか多くの女性が興味を持ってきている
- すぐに現地に来られないが、自然エネルギーの暮らしに関心のある人々へ向けたオンラインセミナー
- エネルギーや家について、大人でも学べるような場所にしていくのが夢



## 一般社団法人 旅の葉 榎本 峰子さん

- 幼少期から介護・福祉の世界にあこがれを持つ自身の行う介護と、介護者ご本人の意思とのすり合わせの難しさを肌で感じる
- 制度と慈悲の両立で、ジレンマを抱える
- 独立までしてなにがしたいか…旅行というキーワードを思いつく
- 徳島県女性起業塾を受講し、経営を学ぶ
- 一般社団法人 旅の葉、の立ち上げ…介護が必要な方へ向けた、旅行の楽しみの提供
- 人の手をかりてもいいから、自分らしく生きて欲しい

介護仲間6人の協力のもと、クラウドファンディングを活用し「民宿 旅の途中」を開く。



### あきんど塾キャストの考える『With コロナへのチャレンジ』

- 働き方・価値観・生活の様子まで変化し、人生設計を考えなおすきっかけとなった
- オンラインコンテンツへの移行が必要
- 仕事への考え方に変化があり、量より質が大事であると実感

### ～あきんど塾キャストからの意見～

- 新しい時代の新しい女性起業家
- どの事業にどの程度の目標を定めるによって、クリエイティブするための軸が考えやすくなる
- お客様にとってのいい値段と経営者にとってのいい値段は1点しかない
- この素晴らしさを内外に発信していきたい



# 徳島城博物館の訪問

令和3年1月20日(水)、徳島城博物館を訪問し、来年度の活動につなぐため根津館長解説のもと館内を見学しました。徳島藩主であった蜂須賀家の歴史、並びに、渋沢栄一と関係の深い蜂須賀茂韶の功績について学びました。徳島ならではのブランディング実現に向け、アイデアを醸成する機会となりました。



蜂須賀 茂韶(1846～1918)  
はちすかもちあき  
14代徳島藩主。明治5年(1872)私費でイギリス留学し外交官となり、帰国後は政治世界に身を転じ、23年には東京府知事、翌年には貴族院議長、さらに29年には文部大臣を歴任した。渋沢栄一とともに企業の設立に携わり、明治時代の日本創設に貢献した。

